

令和6年2月7日

学校再編について市民の多様な意見を的確に把握し、合意形成を図ることを求める請願

牧之原市議会

議長 村田 博英 様

請願人 代表

牧之原市静波1699-49

中川 松枝

(別紙請願人)

紹介議員

<請願の趣旨>

議会は議決機関としての役割を重んじて、学校再編について市民の多様な意見を的確に把握し、積極的に市民の合意形成に取り組んでいただきたい。

<請願の理由>

学校再編計画は教育委員会によって決定されているものの、市民には多様な意見が存在していることを無視してはなりません。私たち市民は学校再編について、これまで市長及び教育長に公開質問状を提出したり、教育委員会へ請願を行ったりしてきました。主な活動としては、昨年2月に学校再編計画策定について、市長及び教育長宛に、対話を求める要望書を1116筆の署名を添えて提出しました。また、同11月には教育委員会に、「学校施設基本構想・基本計画」素案について市民説明会を開催することを求める請願を、請願人335名により提出しました。しかしながら、対話による協働のまちづくりを推進している牧之原市ですが、これらの市民の提案には、ほとんど応えないという対応が続いてきました。

一方、議会では一昨年3月に「学校再編に関する要望書」を市長に提出されています。「市民への情報提供と意見聴取を行い、市民や議会との議論を重ねていただくよう要望する」というものです。私たちは行政対応がこの要望にも反しているのではないかと考えます。このようなことから、二元代表制における議会は、学校再編について行政に追従することなく、市民の声を十分聴取し、合意形成に取り組むよう求めます。